



# 王<sup>いぎな</sup>朝文化への誘い<sup>フォーラム</sup>

新作! 琉球史劇『火城—琉球国劇「組踊」誕生』上演決定!

プレイベント・フォーラムを開催。

たまぐすくちょうくん ていじゆんそく さいおん へしきやちょうびん  
玉城朝薫、程順則、蔡温、平敷屋朝敏など

「琉球のルネッサンス時代」を築いた

先人たちの勇氣・誇り・氣概。

今だから紡ぎだそう!

本公演は、  
1月17日(日)開催!  
※詳細は裏面

- |            |        |                             |                 |
|------------|--------|-----------------------------|-----------------|
| 【調査研究報告】   | 久貝 友里菜 | 比嘉 千里                       | (沖縄県立那覇高等学校2年生) |
| 【パネリスト】    | 与並 岳生  | 作家(火城—琉球国劇「組踊」誕生—/原作・脚本)    |                 |
|            | 玉城 盛義  | 玉城流三代目家元(火城—琉球国劇「組踊」誕生—/主演) |                 |
|            | 津波 盛廣  | 劇団花道代表(火城—琉球国劇「組踊」誕生—/演出家)  |                 |
|            | 古塚 達朗  | (那覇市市民文化部文化財課長)             |                 |
| 【コーディネーター】 | 崎山 律子  | フリージャーナリスト、那覇市文化協会 副会長      |                 |

2015年12月3日 木曜日

【入場無料】

会場 沖縄県立博物館・美術館講堂

午後2:00—午後4:00



# 琉球史劇

かじょう



## 琉球国劇「組踊」誕生

平成28年 1月17日 日曜日

【入場無料】

※入場整理券が必要です。

会場 那覇市民会館大ホール

開場14:30 — 開演15:00

【入場整理券】平成28年1月6日(水)より配布予定

【配布場所】那覇市民会館、那覇市役所総合案内、首里支所、真和志支所、小禄支所、那覇市文化協会

【脚本】与並 岳生

【演出】津波 盛廣

### あらすじ

尚敬王代(在位1713~1751)は琉球の文化が飛躍的に高まりました。そのハイライトは玉城朝薫による<組踊>の誕生です。台風、飢饉、首里城炎上…と、琉球はかつてない苦難を乗り越え、新王尚敬の即位、首里城再建で、新たな時代を迎えます。清国皇帝の派遣する冊封使を迎える「御冠船」で、その新生琉球の気概を内外に高らかに示すことになりました。朝薫は冠船踊奉行として「国劇」創造に取り組むことになり、江戸上りの途次、大坂で近松門左衛門から大きな示唆を受けます。しかし、国劇創造の前に、冊封使の大型船を迎えるため、土砂で浅くなった那覇港の大浚渫工事をしなければならず、朝薫が工事の総指揮を執ることになりました。芸能ばかりではない、朝薫の多才さを示すものでしたが、嵐吹きつの中、工事はどうなるのか、無事に「御冠船」は迎えられるのか、そして「国劇」は……。従来にない、新たな朝薫像を描き出します。

### 配役

玉城朝薫  
真加戸(朝薫の妻)  
近松門左衛門  
程順則  
蔡温  
尚敬王  
与那城王子  
金武王子  
摂生・豊見城王子朝臣  
三司官・浦添親方  
三司官A  
三司官B  
本部按司  
垣花親方  
友寄親方  
冊封使・海宝  
副使・徐葆光  
里之子①  
里之子②

玉城盛義  
知念亜希  
宇座仁一  
比嘉克之  
砂川政秀  
城間祐希奈  
天願雄一  
東江祐吉  
新垣勝夫  
糸数きよし  
新垣正弘  
大城常政  
具志清健  
山入端實  
知念勝三  
川武由明  
嘉陽田朝裕  
濱里大智  
伊藝武士

冊封使臣下 那覇市文化協会  
琉球王朝禮楽部会  
舞踊 舞方:宮城流美能留会  
瓦屋節:玉城流玉扇会、  
真踊流  
若衆こてい節:玉城流翔節会、  
玉城流扇寿会  
地謡 玉城正治、前川朝文、他  
舞踊監修 玉城秀子  
音楽監修 玉城正治  
舞台監督 中村倫明  
(一社)Okinawa-Stage-Plan  
制作運営 安田辰也(那覇市文化協会)  
総合プロデュース 仲田美加子  
(那覇市文化協会 会長)